

市民文化祭 狭山台公民館会場

10月29日(日) 発表会 & 展示

「狭山ひょうたんクラブ」の招待展示作品です▼大きさや形状の違う沢山のひょうたんの種類を植えて、1年間大事に育てて収穫した後に乾燥させ、大変凝った色塗りをして完成させたものです▼2m以上の大きいひょうたんや、1cm以下の作品もあります。いずれのひょうたんも1年草とのこと▼通常は富士見集会所で活動していますが、今年は狭山台公民館の文化祭に展示されました▼アクセサリーや、お守りの「ひょうたん」を販売していました。



狭山ひょうたんクラブの招待展示作品



この会場はお花いっぱいでも香りもよく癒される空間

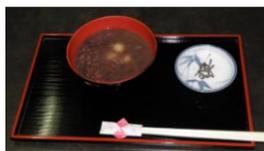
青墨や茶墨など、色の濃淡を組み合わせただけで描く水墨画は素晴らしいものでした▼自然の風景や、いろいろな花や、果実などの作品が沢山展示してありました▼会員が生まれ育った富山県の故郷を、昔の写真を参考に描いた懐かしい作品の説明に、記者も故郷に帰ったような気持ちになりました。

生け花「さくら会」で活動する元気な会員は、花屋さんから各自の好きな花を購入し、器に飾った花の空間が美しくなる長さを決めたら、花が長持ちするように水切りをして生けていました▼公民館で完成した「生け花」は、各々が自宅に持ち帰り、飾って楽しんでいるとのこと。



「水墨画展」狭山台墨水会

きらく会による大変美味しい「白玉汁粉」作りは、前日から準備していました▼当日は台風22号の雨天のため、屋外テントでの販売・飲食ができず、屋内で実施しましたが、大変人気が高く完売しました。(村上記者)



きらく会「白玉汁粉」の販売・飲食は屋内実施

10月30日(月) 発表会



狭山台日舞同好会



日本舞踊発表会

照明や屏風がセットされ、豪華な舞台が作られました▼着付けが素晴らしく、しなやかな身のこなしに清楚な品格を感じながら踊りに見入ってしまいました。▼静の中の動を体現する日本舞踊の奥深さを味わうことができる内容でした。



紅梅会・狭山台吟詠会

朗読発表会

情感たっぷりの一人語りや大勢の掛け合い等の朗読の発表がありました。来場者も多く見受けられ、根強い人気が続いていました。



狭山台民踊会

吟詠発表会

仁里流嘉乃吟友会(紅梅会)と峯月吟詠会(狭山台吟詠会)の2グループが、合わせて28曲の吟詠を披露しました。お腹から発する朗々とした吟声がホール内に響きました。健康増進にも効果がありそうです。



狭山語りの会

民踊発表会

北海道から沖縄までの各地の民踊を全11曲披露。手踊りだけでなく、バチを持ったり、扇子を持って踊る▼来場者も踊りの振りを真似しての手踊りや、手拍子で楽しんでいました。最後はソーラン節などの踊りの輪に加わっていました。(阿部記者)

10月31日(火)~11月3日(金) 展示

11月1日(水)は爽やかな秋晴れの日でした。会場には12サークルの日頃の努力の成果がたくさん並んでいました▼パソコンサークル「ピポットPCサークル」作成のイラスト風の絵を見ると、パソコンの機能とそれを使いこなす技術に驚かされます。見学に来ていた車椅子の方も並んだ作品を見て「まるで美術館に来ているよう。皆さん打ち込むものがある素晴らしい」と感動していました。



「さやま遊書会」の現代アート風な作品(左)と絵文字般若心経(右)



作品に車椅子の方も感激

ロビー展示隣りの部屋には、書の現代アート風の斬新な作品の展示。ホールには色々な趣の絵画約100点が展示され、90歳を超えられた方も元気に出品されているそうです。



「狭山台書道愛好会」による薄墨の条幅作品

2階の和室では、写真サークル「彩光会」の作品展示。そしてテーブルには珠玉の写真を納めたアルバムが並んでいて、手に取って眺めていました▼2階奥の部屋では2つのサークルの趣の違った書道作品が条幅仕立て、色紙、額縁に並び、日本の文化を醸し出していた。(牧野記者)



今まで撮りためた写真を載せたアルバムの数々